

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 5 年 6 月 29 日 (2023.6.29)

【公開番号】特開 2023-86828 (P2023-86828A)

【公開日】令和 5 年 6 月 22 日 (2023.6.22)

【年通号数】公開公報 (特許) 2023-116

【出願番号】特願 2023-67442 (P2023-67442)

【国際特許分類】

C 0 8 L 2 5 / 0 8 (2006.01)

C 0 8 F 2 9 0 / 0 6 (2006.01)

10

【F I】

C 0 8 L 2 5 / 0 8

C 0 8 F 2 9 0 / 0 6

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 6 月 16 日 (2023.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マトリックス相 (A) にゴム状弾性体粒子 (B) を分散粒子として含有するスチレン系樹脂組成物 (I) を含有するスチレン系フィルムであって、

前記マトリックス相 (A) は、

スチレン系化合物を有するモノビニル化合物と、分子内に共役ビニル基を少なくとも 2 つ有する共役ジビニル化合物及び / 又は 1 つ以上の枝分かれ構造を有する多分岐ビニル化合物とのラジカル共重合体を含有し、かつ前記モノビニル化合物中の前記スチレン系化合物の含有量は、前記モノビニル化合物の含有量のうち 70 モル % 以上であり、

30

前記スチレン系化合物は、スチレン、 $\alpha$ -メチルスチレン、パラメチルスチレン、エチルスチレン、プロピルスチレン、ブチルスチレン、クロロスチレン又はプロモスチレンであり、

前記モノビニル化合物は、メチル (メタ) アクリレート、エチル (メタ) アクリレート、ブチル (メタ) アクリレート、セチル (メタ) アクリレート、(メタ) アクリロニトリル、ジメチルマレエート、ジメチルフマレート、ジエチルフマレート、エチルフマレート、無水マレイン酸、マレイミド、又は核置換マレイミドであり、

前記多分岐ビニル化合物を有する場合は以下の (a) および (b) を満たし、

(a) 前記多分岐ビニル化合物の含有量は、前記モノビニル化合物の総量 1 モルに対して  $2.0 \times 10^{-6} \sim 4.0 \times 10^{-4}$  モルである、

40

(b) 前記多分岐ビニル化合物の数平均分子量 ( $M_n$ ) は、850 ~ 10000 である、

前記共役ジビニル化合物を有する場合は以下の (c) および (d) を満たす、

(c) 前記共役ジビニル化合物の含有量は、モノビニル化合物の総量 1 モルに対して、 $2.0 \times 10^{-6} \sim 4.0 \times 10^{-4}$  モルである、

(d) 前記共役ジビニル化合物の数平均分子量 ( $M_n$ ) は、850 ~ 10000 である、

分岐度が 0.70 ~ 0.94 であり、

ゲル化度が 1.00 ~ 1.25 であり、

50

多角度光散乱検出器 (MALS) を用いて測定した絶対分子量 100 万 ~ 500 万の成分の含有量が 5.0 ~ 15.0 % であり、

ゲルパーミエーションクロマトグラフィー (GPC) を用いて測定した数平均分子量 (Mn) に対する重量平均分子量 (Mw) の比 (Mw / Mn) が 3.0 ~ 5.0 である、スチレン系樹脂組成物 (II) であり、

前記スチレン系樹脂組成物 (I) は、前記ゴム状弾性体粒子 (B) を当該スチレン系樹脂組成物 (I) 100 質量 % に対して 0.1 ~ 2.5 質量 % 含有することを特徴とする、スチレン系フィルム。

【請求項 2】

以下の〔2〕~〔4〕のいずれかを満たす、請求項 1 に記載のスチレン系フィルム。

10

〔2〕前記スチレン系樹脂組成物 (II) の最大立ち上がり比が 1.2 ~ 5.0 である、

〔3〕前記スチレン系樹脂組成物 (II) 中のスチレンの二量体及び三量体の合計残存量が前記スチレン系樹脂組成物 (II) 100 質量 % に対して 0.01 ~ 0.30 質量 % である、

〔4〕GPC を用いて測定したピークトップ分子量 (Mtop) が 10 万 ~ 18 万である、

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 のいずれかのスチレン系フィルムを有することを特徴とする、成形品。

【請求項 4】

前記スチレン系樹脂組成物 (II) と、ゴム状弾性体粒子を含むスチレン系樹脂を溶融混練して押出成形する工程を含む、請求項 1 又は 2 のいずれかのスチレン系フィルムの製造方法。

20

30

40

50